

令和2年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
330621138	学泉アカデミーE (レクリエーション) Potential Studies E (Recreation)	埴 佐敏		専門	1	選択	2年前期

科目の概要

レクリエーションとは、主として自由時間に行われる自発的・創造的な活動で、楽しみとして行われ実益性を持たない活動とされている。日常生活の中で言えば、仕事や勉強の疲れ回復させたり、心身をリフレッシュするために行われたりする活動と言える。本授業では、身体を動かす積極的休養法の考えのもと、レクリエーションとして自らが各種スポーツを楽しむだけでなく、子どもから高齢者までが楽しめる活動について考えていく。またレクリエーションを通し、コミュニケーション能力の修得も図っていく。

学修内容	到達目標
レクリエーションの意義や役割を学ぶ。 アイスプレイングやPA系ゲームを通して、お互いの信頼関係を構築していく。 既存のルールや球技種目のルールや規則を変更し、誰もが楽しめる方法を考え実践する。	レクリエーションの意義や役割を理解する。 アイスプレイングやPA系ゲームを通して、お互いの信頼関係を構築できる。 既存のルールや球技種目のルールや規則を変更し、誰もが楽しめる方法を考え行うことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	レクリエーションの意義や役割を理解し、自発的に学習に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分なりに工夫したり、他者と協力したりして取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	既存のスポーツ種目を誰もが楽しむための観点からルールや規則の変更点を考えることができる。
	計画力	
	創造力	既存のスポーツ種目のルールや規則を変更することで、その種目がどのように変わるかを考えることができる。
チームで働く力	発信力	既存のスポーツ種目のルールや規則の変更点を、相手に分かるように伝えることができる。
	傾聴力	グループ活動において、仲間の意見に耳を傾け、相手の考えを理解できる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	課題については指定された期日までに提出することや、決められたルールや規則を守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

必要に応じて資料を配布する。

他科目との関連、資格との関連

学修上の助言	受講生とのルール
レクリエーションは楽しい活動として行われるものであるが、受講に当たっては真面目な態度であること。 体育館で体を動かすことが中心となることから、運動に相応しい服装であること。	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻や欠席をしないこと。 高校時代の体育着など運動に相応しい服装であること。 課題等の提出期限を順守のこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験		①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	40	①		✓	・毎授業の振り返り用紙は、学習内容を整理し、何を学んだか、学んだ内容をこれからの日常生活のレクリエーションとしてどのように取り入れていこうとするのかを踏まえた内容であること。 ・レクリエーション活動としての役割や意義を踏まえた内容であること。
				②		✓	
				③		✓	
				④			
				⑤			
		成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	40	①		✓	・成果発表の評価は、授業内で行う各種スポーツへの参加意欲や態度と、スポーツ種目のルールや規則を変更しようとする創意工夫する態度、さらにチーム活動への協力性で評価する。
				②		✓	
				③		✓	
				④			
				⑤			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 苦手なことでも積極的に取り組むことができる。 (実行力) 自分なりに工夫したり、他者と協力したりして取り組むことができる。 (課題発見力) 既存のスポーツ種目を誰もが楽しむための観点からルールや規則の変更点を考えることができる。 (創造力) 既存のスポーツ種目のルールや規則を変更することで、その種目がどのように変わるかを考えることができる。 (発信力) 既存のスポーツ種目のルールや規則の変更点を、伝えることができる。 (傾聴力) グループにおいて他者の意見を踏まえ、考えることができる。 (規律性) 指定された期日までに課題を提出することや、決められたルールや規則を守ることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
レクリエーションの意義や役割を理解し、その必要性を述べることができる。 誰もが楽しめるスポーツ活動を工夫して考え、積極的に活動できる。 レクリエーション活動を他者に分かりやすく伝えることができる。 上記の内容が特に優れている場合、S(秀)とする。	レクリエーションの役割について述べるができる。 既存のスポーツ種目だけでなく、誰もが楽しめるという視点でルールや規則の変更を考えることができる。 レクリエーション活動を他者に伝えることができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	○オリエンテーション ○レクリエーションの意義と役割について学ぶ。 ・レクリエーションとは何か。レジャーとどう違うのか。	講義	・レクリエーションの意義と役割、そしてレジャーとの違いを説明できる。	(予習)レクリエーションとは何かを調べる。 (復習)レクリエーションの意義・役割を理解し、レジャーとの違いをまとめる。	120	主体性 実行力 傾聴力
2週 /	○身体を動かしてのアイスブレイキングやPA系ゲームを学ぶ。	講義・演習	・身体を動かしてのアイスブレイキングやPA系ゲームのやり方を理解し、実際に行うことができる。	(予習)アイスブレイキングとは何かを調べる。 (復習)PA系ゲームのやり方をまとめる。	120	主体性 実行力 傾聴力
3週 /	○ルールや規則を変更したバスケットボールを行う。 ・ドリブルなしのオープンナンバーゲームとドリブルありのアウトナンバーゲームを行う。	演習	・ドリブルなしのオープンナンバーゲームとドリブルありのアウトナンバーゲームを行い、その違いを説明できる。	(予習)誰もが楽しめるためのルールや規則の変更を考える。 (復習)本時に行った2つのバスケットボールの違いをまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
4週 /	○既存のバスケットボールのゲームを行う。	演習	・バスケットボールのルールを理解し、ゲームを行うことができる。	(予習)バスケットボールのルールのうち、テクニカルファウルについて調べる。 (復習)ルールや規則を変更したバスケットボールと既存のバスケットボールとの違いをまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
5週 /	○自分たちでゲームの運営を行い、バスケットボールのゲームを行う。	演習	・審判をはじめとしたゲームの運営を行うことができる。	(予習)オルタネイティングポゼッションルールについて調べる。 (復習)バスケットボールの審判の仕方をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
6週 /	○ルールや規則を変更したソフトバレーボールと既存のソフトバレーボールを学ぶ。 ・ワンキャッチソフトバレーボールと既存のソフトバレーボールを行う。	演習	・レシーブかトスのいずれかでキャッチを認めたワンキャッチのやり方を理解し、ゲームができる。 ・ポジションの役割を理解し、ソフトバレーボールができる。	(予習)ソフトバレーボールの歴史やルールを調べてくる。 (復習)ワンキャッチと既存のソフトバレーボールの違いをまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
7週 /	○既存のソフトバレーボールを学ぶ。 ・自コート内で攻撃のための組立について学ぶ。	演習	・各ポジションの役割を理解し、ソフトバレーボールができる。	(予習)ルールや規則を変更したソフトバレーボールの指導法を考える。 (復習)自コート内で攻撃のための組立を行うこととキャッチのとの関連をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
8週 /	○自分たちでゲームの運営を行い、ソフトバレーボールのゲームを行う。 ・3人制でソフトバレーボールを行う	演習	・各ポジションの役割を理解し、3人制のソフトバレーボールができる。 ・ソフトバレーボールのルールを理解し、ゲームを行うことができる。	(予習)ソフトバレーボールのルールを確認する。 (復習)3つのソフトバレーボールの違いをまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	○バドミントンのサーブのやり方を修得する。 ○バドミントン(シングルス)のルールを理解し、ゲームを学習する。 ○審判の行い方を学習する。	演習	・サーブを正しく入れることができる。 ・バドミントン(シングルス)のルールを理解し、ゲームができる。 ・ルールを理解し、審判ができる。	(予習)バドミントン(シングルス)のルールを調べる。 (復習)バドミントン(シングルス)のゲームについてまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
10週 /	○ネットを挟んでのラリーを修得する。 ○バドミントン(ダブルス)のルールを理解し、ゲームを学習する。 ○審判の行い方を学習する。	演習	・相手コートに正しく返球し、ラリーを続けることができる。 ・味方同士でコミュニケーションを取り、ダブルスのゲームを行う。 ・サーブと得点の関係を理解し、審判ができる。	(予習)バドミントン(ダブルス)のルールを調べる。 (復習)シングルスとダブルスのルールの違いをまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
11週 /	○バドミントン(ダブルス)のルールを理解し、ゲームを学習する。 ○ハイクリーア、スマッシュの打ち方を学習する。	演習	・ハイクリーアやスマッシュを用い、正しく相手コートに返球し、ダブルスのゲームができる。	(予習)ダブルスのサーブ位置と得点の関係を確認する。 (復習)ダブルスゲームについてまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
12週 /	○卓球(シングルス)のルールを理解し、ゲームを学習する。	演習	・シングルのルールを理解し、ゲームができる。	(予習)卓球(シングルス)のルールを調べる。 (復習)シングルのゲームについてまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
13週 /	○卓球(ダブルス)のルールを理解し、ゲームを学習する。 ○審判の行い方を学習する。	演習	・味方同士でコミュニケーションを取り、ダブルスのゲームができる。 ・サーブの位置や順番を理解し、審判ができる。	(予習)卓球(ダブルス)のルールを調べる。 (復習)シングルスとダブルスの違いをまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
14週 /	○STT(サウンド・テーブル・テニス)の行い方を学習する。 ○パラ・スポーツについて学習する。	講義・演習	・STT(サウンド・テーブル・テニス)の行い方(ルール等)を理解し、ゲームを行う。 ・パラスポーツの役割や種類を述べることができる。	(予習)STT(サウンド・テーブル・テニス)の行い方を調べる。 (復習)各種パラ・スポーツについてまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
15週 /	○長縄跳びの跳び方を学習する。 ・1本の縄でのかぶり縄、迎え縄を跳ぶ。 ・2本の縄での十字交差跳びを行う。 ○まとめ	演習	・長縄でのかぶり縄、迎え縄、十字交差の連続跳びができる。	(予習)長縄跳びを使った跳び方を調べる。 (復習)長縄跳びのレクリエーションにおける活用法をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力